

志賀海神社

七夕祭

薪能

神と自然が 織りなす志賀島

綿津見の神に奉げる、「宵待之翁」

平成28年8月6日(土) 19:20～20:40
開場/18:30 開演/19:20

[プログラム] 『宵待之翁』…翁/片山 伸吾 千歳/片山 俊祐 笛/相原 一彦 小鼓/飯田 清一
地謡/河村 和重、河村 博重、浦部 幸裕

龍の舞……………舞/北本 雅義 笛/折居 雅晴

解 説……………片山 伸吾、田茂井 廣道、中澤 弘幸

[会 場] 志賀海神社境内 福岡県福岡市東区志賀島877

[チケット(先着順)] S席(50席)/5,000円 A席(170席)/3,000円 C席(ビデオ鑑賞)/1,000円

[チケット購入・お問い合わせ先] TEL:092-603-6501 FAX:092-603-6787 MAIL:info@shikaumi-jinja.jp

[主 催] 『宵待之翁』プロジェクト実行委員会わたつみ、志賀海神社

[後 援] 福岡市、福岡市教育委員会、西日本新聞社、RKB毎日放送



株式会社 久原本家グループ本社、コカ・コーラウエスト 株式会社、西部ガス 株式会社
三興パルプ継手 株式会社、太宰府天満宮、志賀島自治連合会、志賀商工会、
福岡市漁業協同組合志賀島支所、福岡市漁業協同組合弘支所

志賀海神社 薪能 検索

<http://www.shikaumi-jinja.jp>

綿津見の神に奉げる、「宵待之翁」

『翁』は、能が成立する以前の翁猿楽の様式を留める芸能で、元々は五穀豊穡を祈る農村行事でした。父尉・翁・三番猿楽が登場し、『式三番』と呼ばれていましたが、現在では父尉を省略するようになったため、通称『翁』と呼んでいます。『宵待之翁』ではさらに三番猿楽を省略し、本来舞台上でつける翁面を使用せず、素朴な風合いに仕上げられています。元より『翁』は「能であり能にあらず」と言われるように、神事の意味合いが濃いものですので、この志賀海神社の新しい神事として、神社の持つ風合いに併せた形を創りました。



新年、しかも深夜に行われることの多い『翁』の神事。夏の七夕祭、宵の口に行われる非常に珍しいこの『翁』を、『宵待之翁』と名付けさせて頂きました。神妙、荘厳にしてかつ静寂な神の世界が表現されているといっても過言ではないでしょう。

観世流
片山 伸吾氏

龍の舞

龍の舞は志賀海神社に伝わる舞で御神幸祭に頓宮にて奉納されるものです。古より伝わる「竜頭」を胸前に捧げ竜がくねり舞うように舞います。

本来は神慮を慰め、舞楽の座を清め祓う獅子舞であったものが、頭が竜等風に長めに作られているところから、志賀島固有の竜神信仰に影響されて、竜頭になるように頭に鹿の角2本を刺したものと思われます。

その舞は重厚厳粛で稀にみる民族芸能というべきもので福岡県の無形民俗文化財に指定されています。



【お問い合わせ】

『宵待之翁』プロジェクト実行委員会 わたつみ
〒811-0323 福岡県福岡市東区志賀島877
TEL/092-603-6501 FAX/092-603-6787
MAIL/info@shikaumi-jinja.jp

[福岡市営渡船時刻表]

博多 ▶ 志賀島

便	博多発	西戸崎発	志賀島着
10	14:30	14:45	15:00
11	16:20	16:35	16:50
12	18:30	18:45	19:00

志賀島 ▶ 博多

便	志賀島発	西戸崎発	博多着
臨時便	21:30		21:50
15	22:20	12:35	22:50

